

# 「新庁舎建設に関する地区別説明会」の質問・意見等の記録

## 【会場：町民会館】

1	日 時	平成23年10月18日（火） 19:00～20:09
2	会 場	町民会館 2階講堂
3	参 加 者	18人（ほか報道機関2人）
4	町出席者	町長、副町長、総務部長、企画室長、建設部長、企画室参事、企画室副主幹

### 住民

説明を受けて理解できた。耐震診断の結果などからしても、新庁舎建設が適当だと思う。

一つお聞きしたいが、新庁舎の規模を6,000㎡とした根拠は。起債の基準である5,000㎡では足りないのか。建設費用が大分違ってくる。

### 町

起債の基準は、人口5万人未満は一括りの基準。1,500人の村も49,000人の市も同じ基準となっている。

人口5万人以上となると、標準面積が大きく変わる。幕別町と同じ程度の人口規模の事例は、6,000㎡からそれを超える建設事例の事実がある。

議事堂の標準面積は、5,070㎡の内数で700㎡であるが、現庁舎の5階の面積と同じ。議場と委員会室、議員控室しかない。

事例では、小会議室や懇談室などの整備が多いこと。また防災拠点として大きな会議室、200㎡を超えるような会議室が必要となる事例などがあることから、場合によっては、防災対策室として利用可能な会議室の整備も考えている。

昨今では、住民の協働スペースを採り入れている庁舎もあることから、6,000㎡としたが、あくまでも事業費を算出する目安としたもの。6,000㎡ありきではない。

### 住民

新庁舎建設は納得できる。

しかし、お金の関係。新聞報道を見ても幕別町は十勝でワーストワン。非常に厳しい財政状況。

住民に、「（庁舎を建設しても）大丈夫ですよ。」と訴えるべき。資料でもよく理解ができないので、詳細な説明をして（大丈夫であることを訴えて）いくべきと思う。

もう一つは、札内地区の関係。人口2万人。本町は6千人。

まちづくりの原点は、本町にあることが基本。しかし、札内で人口2万人いる中で、どうあるべきか。真剣に考えていかなければならない。

特に（札内支所は）職員7人しか配置されていない状況で、防災関係の対応、窓口の人員配置なども、行政改革の中で整合性をもって検討していくべき。

札内住民からも意見が出てくるはず。説得できるようにビジョンをもって説明していくことが必要と思う。

### 町

貴重な意見。借金をしながら町の事業を進めていくことになるが、返済期間を定めて財政計画を立てている。

借金も200億と言われているが、実際には200億を切っている。庁舎を建設した場合でも、おそらく150億程度（借金）となっているものと、推計（計画）しているところ。これらを踏まえ、

広報等でも分かりやすくお知らせできるよう研究していく。

札内支所の充実についても、支所の窓口のあり方そのものも検討を加えて進めているところ。

現在、行政改革の後期5カ年計画の策定も進めているところでもあり、札内支所の機能充実についても、併せて検討を進めていきたいと考えている。

これらについても、方針がまとまった段階で広報等でお知らせしたい。

#### 住民

札内地区を中心に、陳情とか新庁舎建設に対する反対運動が起きている。人口2万人いるところに、7～8人の職員しか配置されていない。用事があっても非常に待ち時間が長い。今まで、そのような体制できたことに落ち度があった。

忠類との比較で言うと、合併で条件等々があってやむを得なかったかもしれないが、30人近い職員が配置されている。札内で7人。

それで、(庁舎)の分散設置とか、スマイルパークへの庁舎建設といった動きが、今までの町のやり方で出てしまったのでは。謙虚に反省して欲しい。

町民の融合性を大切に、何かを創るときに引っ張り合いにならないよう、日頃の行政の進め方を考えて欲しい。

幕別町の発展は、札内だけの発展ではだめ。本町も忠類も発展をしていかないと、町全体の発展に繋がらない。

現庁舎北側に新庁舎を建設することで、均衡ある発展と資料にはあるが、庁舎を建設しただけでは駄目であって、それに付随した本町の立て直しの様々な施策が当然必要になってくるものと思う。これらも考え合わせていただきたい。

#### 町

大変貴重な意見。まちづくりそのものは、総合計画でも謳ってはいるが実効性を問われることもあるので、その都度振り返りながら、まちづくりに職員一丸となって取り組んでいきたい。

#### 住民

人口2万人がいる札内の防災体制と危機管理体制は重要。まちづくりと危機管理体制は別に考えるべき。(札内の)防災対策と危機管理体制をどのように考えているか。

#### 町

今回の大震災を受けて、国も北海道も防災計画の見直し作業に入っている。今後どういった防災体制を執っていくか。北海道の改正の状況を見ながらこれから対応していく。

平常時において、防災体制・危機管理体制というのは、平常時においても当然必要であると考えている。しかし、そのために職員を多く配置しておかなければならないかどうかという、これには問題がある。

役場の仕事の大半は、住民の皆様に対するサービスの向上と皆様の期待にどう応えていくかということ。災害はいつどんな形で発生するか分からない。防災体制は、職員だけでは成り立たない。消防の応援も必要であろうし、住民の皆様のご協力も必要になってくる。

防災体制・危機管理体制は当然必要なことであり、町としても大きな課題である。が、そのために職員を人口に合わせて札内に増やしていけるかとなると、別な角度から考えていかなければならない。

#### 住民

庁舎建設費用の試算が22億円。もっと安くする余地があると思う。検討願いたい。

(了)